

# 「実践と理論をつなぐ研究者育成プロジェクト」総括アンケート

47 件の回答

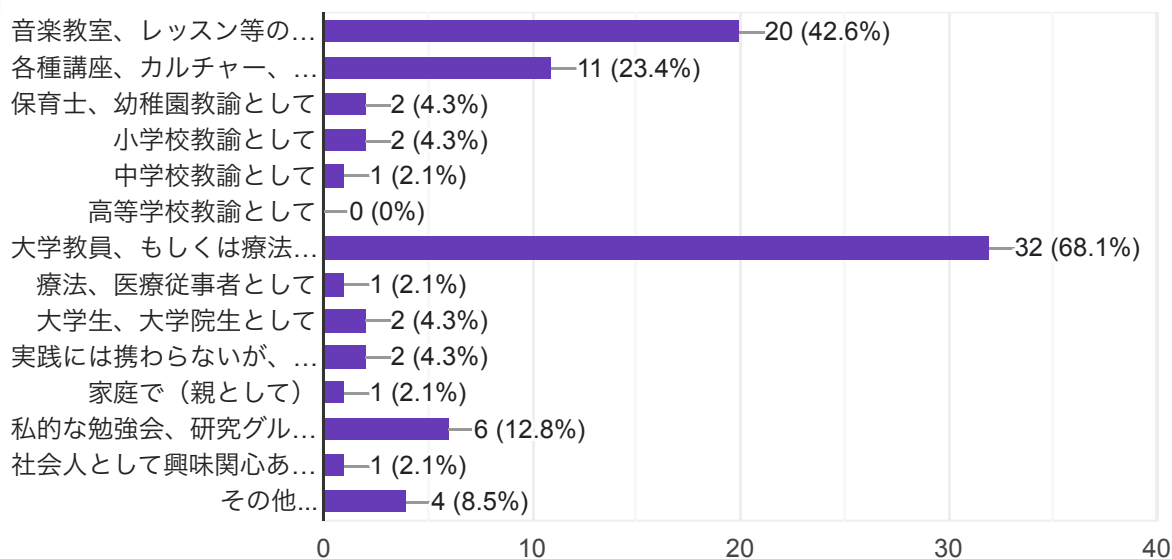
[分析を公開](#)

Q.1. あなたは現在、どのような立場、フィールドでリトミックと関わっていますか。当てはまるもの全てにチェックしてください。

コ

ピ

47 件の回答

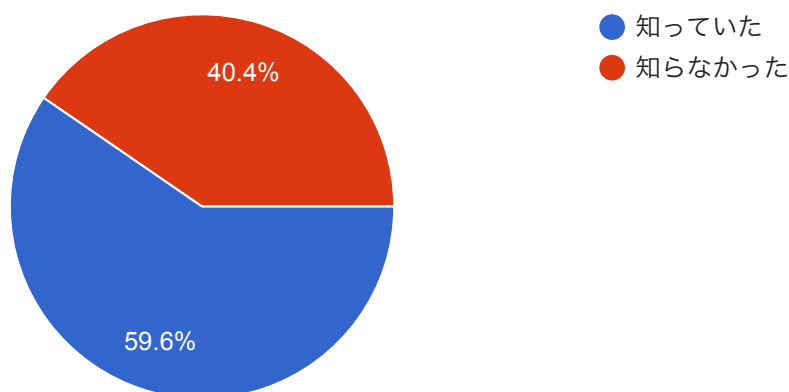


Q.2. 「実践と理論をつなぐ研究者育成プロジェクト」の企画は知っていましたか。当てはまるものを1つ選んでください。

コ

ピ

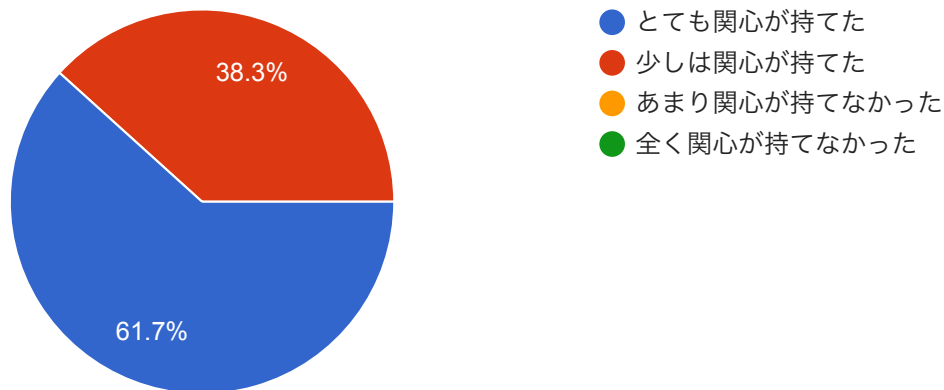
47 件の回答



Q.3. 「実践と理論をつなぐ研究者育成プロジェクト」の企画に関心が持てましたか。当てはまるものを1つ選んでください。



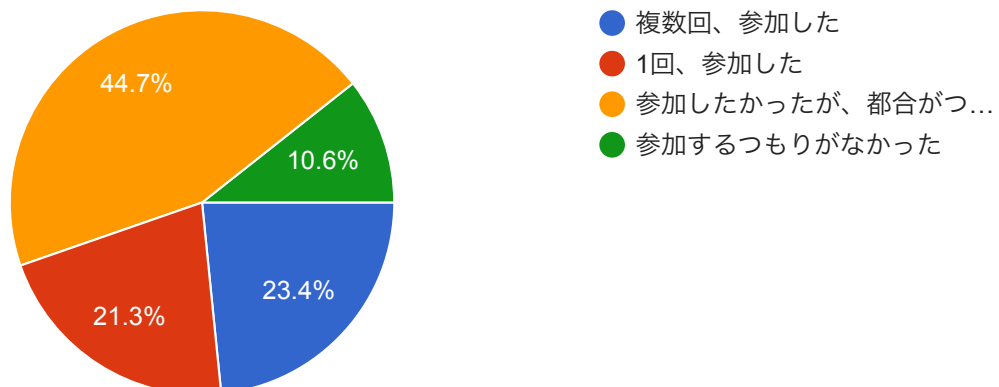
47 件の回答



Q.4. 「実践と理論をつなぐ研究者育成プロジェクト」の企画に参加しましたか。当てはまるものを1つ選んでください。



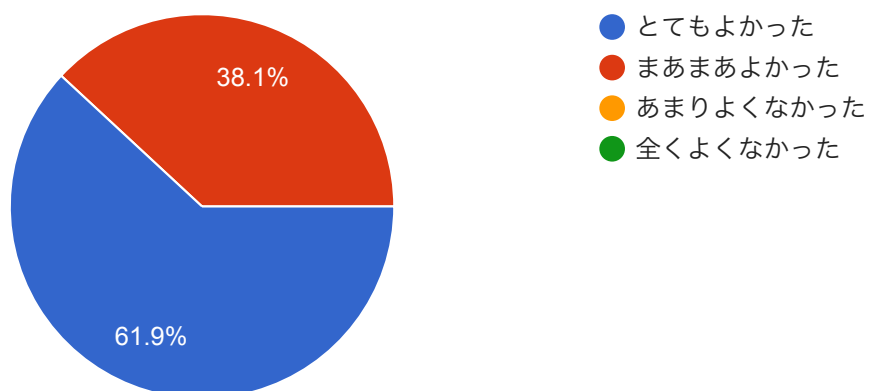
47 件の回答



Q.5. プロジェクト企画に「複数回、参加した」「1回、参加した」とお答えの方、その企画に参加してよかったですか。当てはまるものを1つ選んでください。



21 件の回答



Q.6.前の設問（Q.5.）にお答えの方、その理由を具体的にお書きください。

17 件の回答

3回目が他の研究会と重なり参加できなかったため、企画のまとめ（結果）を知ることができなかったのが残念でした。

昨年8/27には参加できなかったのですが、表現行動と音楽を関連させて論文にするための具体的な研究方法や流れがわかれば、実践と理論をつなぐ研究論文が増えるのではないかと思っております。

実践と理論をつなぐ困難さを再認識した。

プチ講座の内容が分かりやすかったから。

どれも興味深かったが、特に、山下氏、神原氏の寄稿については参考になった。

日々、一人で研究を進めていたため、同じ専門領域の諸先輩方のご意見やが示唆をいただく機会があることに感謝しております。

良い学びになりました。

このプロジェクトが発足して以降、研究者の業績成果中心の論文内容から、実践者目線による評価基準の明確な発表傾向が強まったと思う。音楽教育におけるエビデンスの解明は難しく、教育全般における音楽の社会的認知は依然として弱い。多岐にわたる実践者の奮闘の様子を窺い知ることが出来た。

理論と実践をつなぐことは重要であるが、あまりそういったことが実現していないように思うから、企画を持つこと自体が良い。

自分は1人で実践を理論化することに悩んでいたが、自分の研究をもとにたくさんのご助言を頂き、非常にありがたく感じた。

適切なテーマの設定だったように思う。

企画の視点がタイムリーだと思った

理論と実践のつながりが、一部理解できた。

自分の中だけでは見つけられなかった視点を知ることができたので。

これからの研究に活かすことができる内容であり、大変勉強になりました。

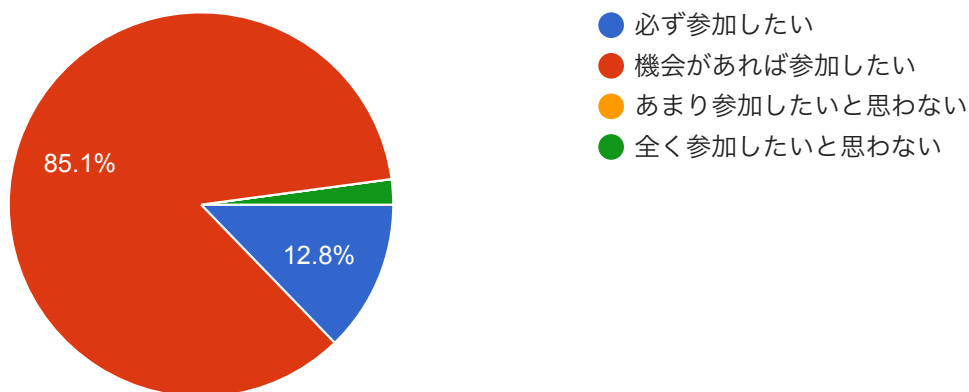
実践と理論をどうつなげていくかについて、永遠に考えていくのではなく、今、何ができるかについて具体的に考えるきっかけになる企画内容だったから。

毎回とても勉強になったことと、リトミック研究について講演、講座を受けたり議論したりする機会がとても貴重に感じられたので。

Q.7. 今後、プロジェクト企画があれば、参加したいですか。当てはまるものを1つ選んでください。



47 件の回答



Q.8. 前の設問 (Q.7.) で「あまり参加したいと思わない」「全く参加したいと思わない」とお答えの方、どのような企画があれば、参加したいですか。

1 件の回答

研究の手法を学ぶ機会が増えることが希望です。特に、本学会は、実践研究の積み上げに問題があるように感じます自分自身もそこに大変壁を感じております。よろしく願いいたします。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

